

# データのビジネス価値創造サービス

潜在的なデータ利活用の機会発掘によるデータの情報資産化

デジタル時代に競争力を有する組織であるためには、データの利活用が極めて重要です。しかし多くの組織ではその必要性を認識してはいるものの、戦略の策定から実行までに多くの懸念事項があり、アクションが取れていないことが課題となっています。

また、近年のデータ活用は組織内に留まらず、情報銀行やData as a Service (DaaS) と呼ばれるデータの価値を高めて組織外に提供するというビジネスにまでも広がっています。

KPMGは、組織が保有するデータの活路を見つけ出し、情報資産へと変換するための戦略策定から実現までの取組みを包括的に支援します。

## データ利活用に対する期待の高まり

現在のデジタル化の流れにおいては、データ利活用の高度化により、自組織内の革新的なサービスやビジネスモデルの創出、的確な経営判断、あるいは業務効率化の実現が期待されています。また、近年では情報銀行など第三者に対するデータおよびサービス提供ビジネスなどが盛り上がり

を見せている一方で、組織内のデータは利用されずにただ蓄積されている状態が散見されます。

組織は今後、データが持つ可能性を最大限に活かすためのデータ利活用の戦略を立て、ビジネスに活用するべく変革していく必要があります。

デジタル技術による経済成長への社会的期待

組織に求められる対応

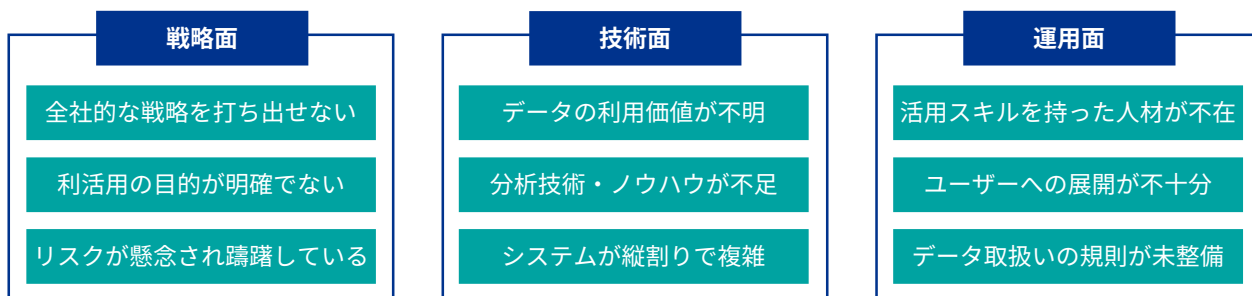


## データ利活用における課題

データ利活用への期待が高まる一方で、自組織が保有しているデータの状況や自社の業務にどのように適用できるかが不明なために、データを用いた変革の明確な戦略を立て

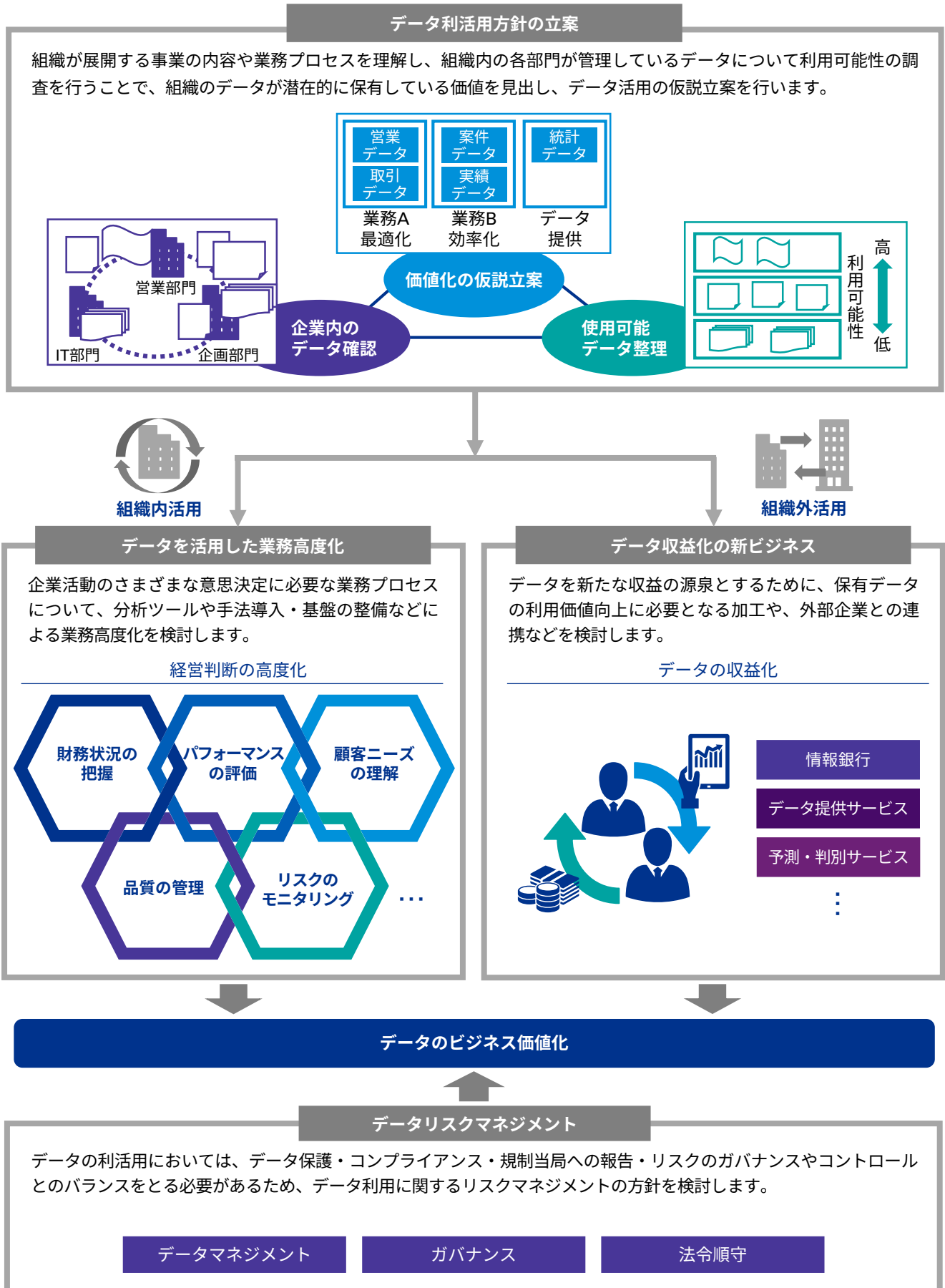
られずにいる企業が少なくありません。また、技術面や業務面における課題により、戦略の実行がスムーズに進まないケースもあります。

企業における課題・懸念事項の例



## データのビジネス価値創造サービスの全体イメージ

組織がデータを、業務の高度化や収益化に用いて情報資産とするために、KPMGは、データ利活用仮説の立案から運用実行に至るまでの全プロセスを総合的に支援します。



## データ活用例

データを利用した業務高度化の例としては、小売業における社内外のデータの組合せ・加工による潜在的な顧客ニーズを反映した新商品の開発や、金融業における業界情報等の定性情報を加えた与信判断での融資審査業務の実施などがあります。また、データの収益化の例としては、通信事業者において自社が保有するデー

タを加工し、他業界へデータおよびサービスを提供するビジネスがあります。

このほかにもさまざまな業界でデータを利用してビジネス価値を創造することが可能です。KPMGは、豊富な業界知見を基に適切な価値創造の実現を支援します。

### さまざまな業界におけるデータ利活用例



## データ利活用の課題に対するKPMGのアプローチ

KPMGは、組織におけるデータ戦略策定・新手法の導入・運用実行の課題に対して、マネジメントコンサルティングおよびリスクコンサルティングの豊富なプロジェクト経験による知見に基づき、

各組織の状況に即したアプローチを行い、データ利活用の取組みが早期にビジネス価値につながるよう、迅速かつ的確なプロジェクト推進を支援します。



### データ利活用戦略策定の支援

- ・さまざまな業界とテクノロジーに関する知見から組織の状況に応じた戦略を策定
- ・積極活用とリスクのバランスをとった「攻め」と「守り」の両面から方針を検討
- ・KPMGのネットワークを活かした外部組織との連携や協働の支援

### 新手法・先端テクノロジーの導入支援

- ・組織が抱える課題に適した手法や分析ツール等の導入支援
- ・必要データの選別や外部データ取得・加工の計画作成支援
- ・組織横断での新手法等の実証実験の実施・効果検証支援

### 運用・実行プロセスでの実施計画の作成・実行支援

- ・人材育成・組織構築・外部リソース活用の体制構築計画の作成支援
- ・事業部門とIT部門の連携を図ったオペレーション実施計画の作成支援
- ・法令や規則に対応した社内ポリシー策定等のガバナンス体制の構築支援

## KPMGコンサルティングの強み

KPMGコンサルティングは、ビジネス変革を実現するマネジメントコンサルティング部門、デジタル分野その他のリスクに精通したリスクコンサルティング部門、さまざまな業界に対する深い知識と経験を有するセクター部門で構成され、組織が抱える経営課題に対して、各分野のプロフェッショナルの専門知識やスキルを

結集して支援しています。データ利活用においても、テクノロジー戦略、データアナリティクス、データガバナンス、各IT技術などの専門知識を持つコンサルタントにより、組織が最新の技術を活用し、テクノロジー投資の成果を最大化するよう、先端事例の知見も活かしてアドバイザーサービスを提供します。

## KPMGによるグローバル支援

海外に拠点を持つ日系の組織では、業務高度化やデータを用いた収益化のために複数国に跨るデータ共有、データ活用のニーズが拡大しています。

KPMGコンサルティングは、KPMGの海外の専門家と連携し、グローバルな知見を活かして、現地での支援も含め、データの利活用における幅広いコンサルティングサービスを提供します。

### KPMGによる支援例



KPMGコンサルティング株式会社

T : 03-3548-5111

E : kc@jp.kpmg.com

[home.kpmg/jp/kc](http://home.kpmg/jp/kc)

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティングまでお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2020 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. 20-5103

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.